

令和2年度（2020年度）新規研究課題

課題番号：R2-03

課題名：スマート農機実装によるナシの効率・軽労生産

研究期間：令和2年度～令和6年度（2020年度～2024年度）

研究担当：農業技術部 園芸作物研究室

1 研究の背景

県内外で評価の高い秋芳梨や豊北梨など、県の主要品目であるナシでは生産者の高齢化や後継者不足が進んでおり、園地継承を円滑に行う体制整備が課題となっている。

一方、近年は生産者の荷重負担を軽減するスマート農機の開発や製品化が進んでいる。また、省力化と軽労化を目的に本県ではナシの「改良むかで整枝法」¹⁾等の新たな整枝方法も開発・確立しており、普及の段階にある。

2 目的

スマート農機と新たな整枝方法を組み合わせることにより、省力化・軽労化効果を更に向上させる。加えて、よりスマート農機が活用しやすい園地環境改善にむけた栽培技術の開発・改良を行い、ナシ生産者の経営安定に活用する。

3 研究内容

スマート農機の作業性、作業手順等を確認し、作業体系を組み立てる。

現地等で実際にスマート農機を使用し、運用上の問題点や改善方法を確認するとともに、導入に適した栽培方法を確立する。

4 研究のポイント

スマート農機の活用により、労働負担を軽減し、作業効率を向上させることで、新規就農者が取り組み易くするとともに、既存生産者の規模拡大を可能とする。

脚注 1) 簡略化した枝の配置により、せん定作業の単純化や収穫作業等を効率化した樹形

スマート農機実装によるナシの効率・軽労生産

研究期間：R2-R6（2020-2024）

研究担当：農業技術部 園芸作物研究室

